

# 広島の景気観測

— 平成23年10月調査結果 —

広島商工会議所会員企業のマインド調査

○調査方法 郵送によるアンケート

○調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目についての状況（D I値を集計）

①平成23年10月を前年同月と比較

②平成23年11月～平成24年1月の先行き見通しを平成23年10月と比較

○調査時期 10月下旬

○調査対象 140社〔回答132社、回収率94.3%〕

※D I（ディフュージョン・インデックス方式）

D Iは各調査項目について判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

$D I = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

広島商工会議所

本件担当：会員サービス部企画広報チーム

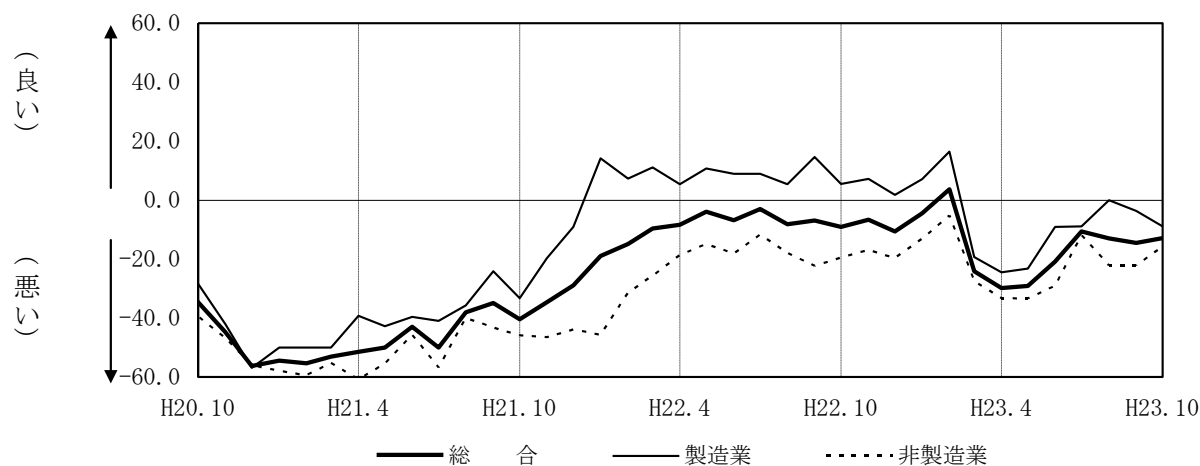
TEL 082-222-6631

E-Mail: hiroshima@hiroshimacci.or.jp

## 【平成23年10月の景況D I】

～景況は、やや上向く～

景況D I (前年同月比)の推移



### 【総合】

◇10月の総合D I値は、前年同月比ベースで9月の $\Delta 14.5$ から1.6ポイント上昇し、 $\Delta 12.9$ となった。

### 【製造業】

◇製造業全体のD I値は9月の $\Delta 3.7$ から5.2ポイント下降し、 $\Delta 8.9$ となった。  
◇業種別では、食品、合成樹脂・ゴム製品は上昇し、木材・木製品、紙・紙製品・印刷、機械・金属製品、自動車関連は下降した。

### 【非製造業】

◇非製造業全体のD I値は9月の $\Delta 22.1$ から6.3ポイント上昇し、 $\Delta 15.8$ となった。  
◇業種別では、消費財卸売業、生産財・資本財卸売業は下降し、建設業、小売業、サービス業は上昇した。

### 【11月～1月の先行き見通し(対10月比)】

◇総合D I値は $\Delta 6.8$ と、前回予測( $\Delta 3.0$ )から下向く見込み。  
◇製造業全体のD I値は $\Delta 1.8$ と、前回予測(5.6)から下向く見込み。  
◇非製造業全体のD I値は $\Delta 10.5$ と、前回予測( $\Delta 9.1$ )から下向く見込み。

## 業種別景況 D I

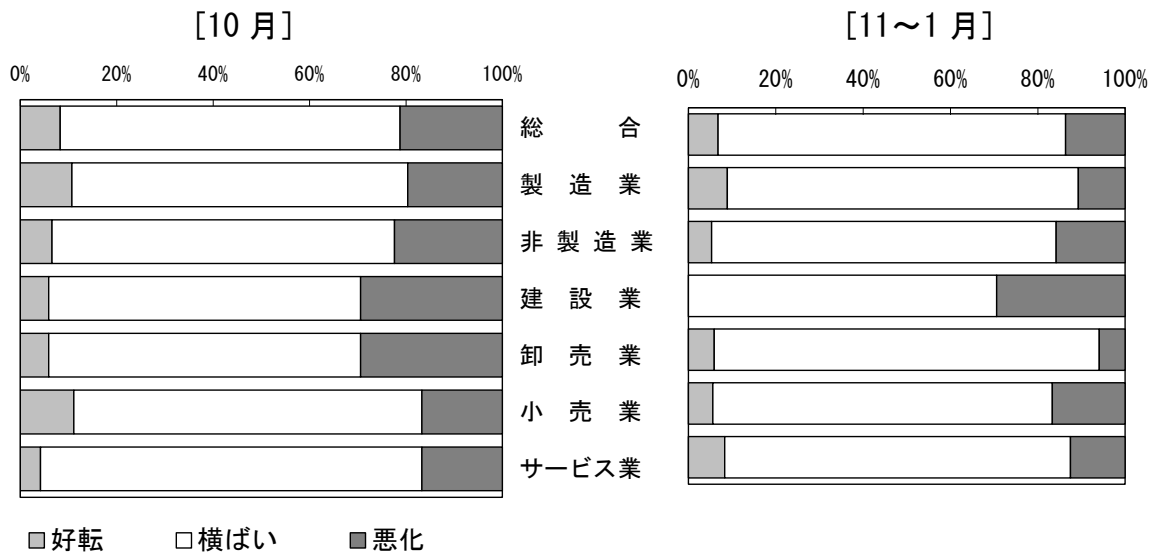
	前年同月比			回答社数構成比(%)			23年9月比 10~12月	23年10月比 11~1月	回答社数構成比(%)		
	8月	9月	10月	好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合 (132)	△ 13.0	△ 14.5	△ 12.9	8.3	70.5	21.2	△ 3.0	△ 6.8	6.8	79.5	13.6
製造業 (56)	0.0	△ 3.7	△ 8.9	10.7	69.6	19.6	5.6	△ 1.8	8.9	80.4	10.7
食品 (12)	9.1	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
木材・木製品 (9)	11.1	11.1	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	11.1	88.9	0.0
紙・紙製品・印刷 (7)	0.0	△ 14.3	△ 28.6	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3
機械・金属製品 (14)	7.7	7.7	△ 7.1	14.3	64.3	21.4	7.7	△ 7.1	14.3	64.3	21.4
自動車関連 (10)	△ 30.0	△ 20.0	△ 40.0	0.0	60.0	40.0	20.0	△ 20.0	0.0	80.0	20.0
合成樹脂・ゴム製品 (4)	0.0	△ 33.3	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0
非製造業 (76)	△ 22.1	△ 22.1	△ 15.8	6.6	71.1	22.4	△ 9.1	△ 10.5	5.3	78.9	15.8
建設業 (17)	△ 6.2	△ 29.4	△ 23.5	5.9	64.7	29.4	△ 23.5	△ 29.4	0.0	70.6	29.4
卸売業 (17)	△ 26.3	△ 21.1	△ 23.5	5.9	64.7	29.4	△ 26.3	0.0	5.9	88.2	5.9
消費財 (9)	△ 20.0	△ 10.0	△ 11.1	11.1	66.7	22.2	△ 10.0	0.0	11.1	77.8	11.1
生産財・資本財 (8)	△ 33.3	△ 33.3	△ 37.5	0.0	62.5	37.5	△ 44.4	0.0	0.0	100.0	0.0
小売業 (18)	△ 27.8	△ 17.6	△ 5.6	11.1	72.2	16.7	0.0	△ 11.1	5.6	77.8	16.7
サービス業 (24)	△ 25.0	△ 20.9	△ 12.5	4.2	79.2	16.7	8.4	△ 4.2	8.3	79.2	12.5

( )内は集計事業所数

8月・9月・10月期については対前年同月との比較。

10~12月・11~1月期の予測については各々9・10月との比較。

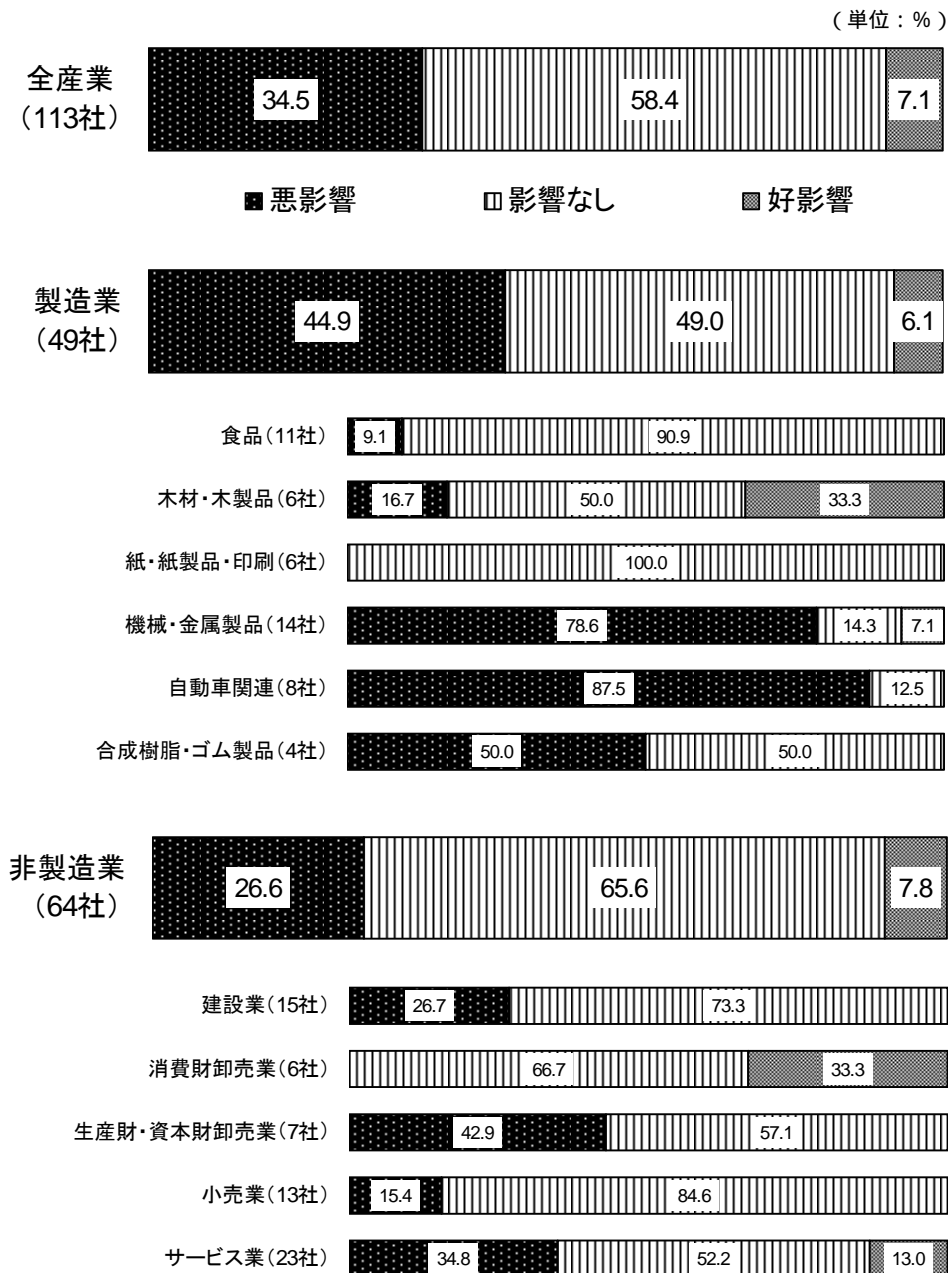
## 業種別回答者数構成比



### 円高の影響に関する緊急アンケート調査結果

【調査期間】 平成23年10月13日(木)～10月25日(水)  
【調査方法】 F A Xによるアンケート方式  
(平成23年10月景気観測調査の付帯調査として実施)  
【対象企業】 景気観測モニター140社(製造業58社、非製造業82社)  
【回答状況】 回答企業数113社(回答率80.7%)  
[製造業49社(84.5%)、非製造業64社(78.0%)]

#### 問1.現在の円高が経営にどのような影響を及ぼしていますか？



全産業では、34.5%(39社)が経営に悪影響。業種別にみると、製造業では44.9%(22社)、非製造業では26.6%(17社)が経営に悪影響と回答。

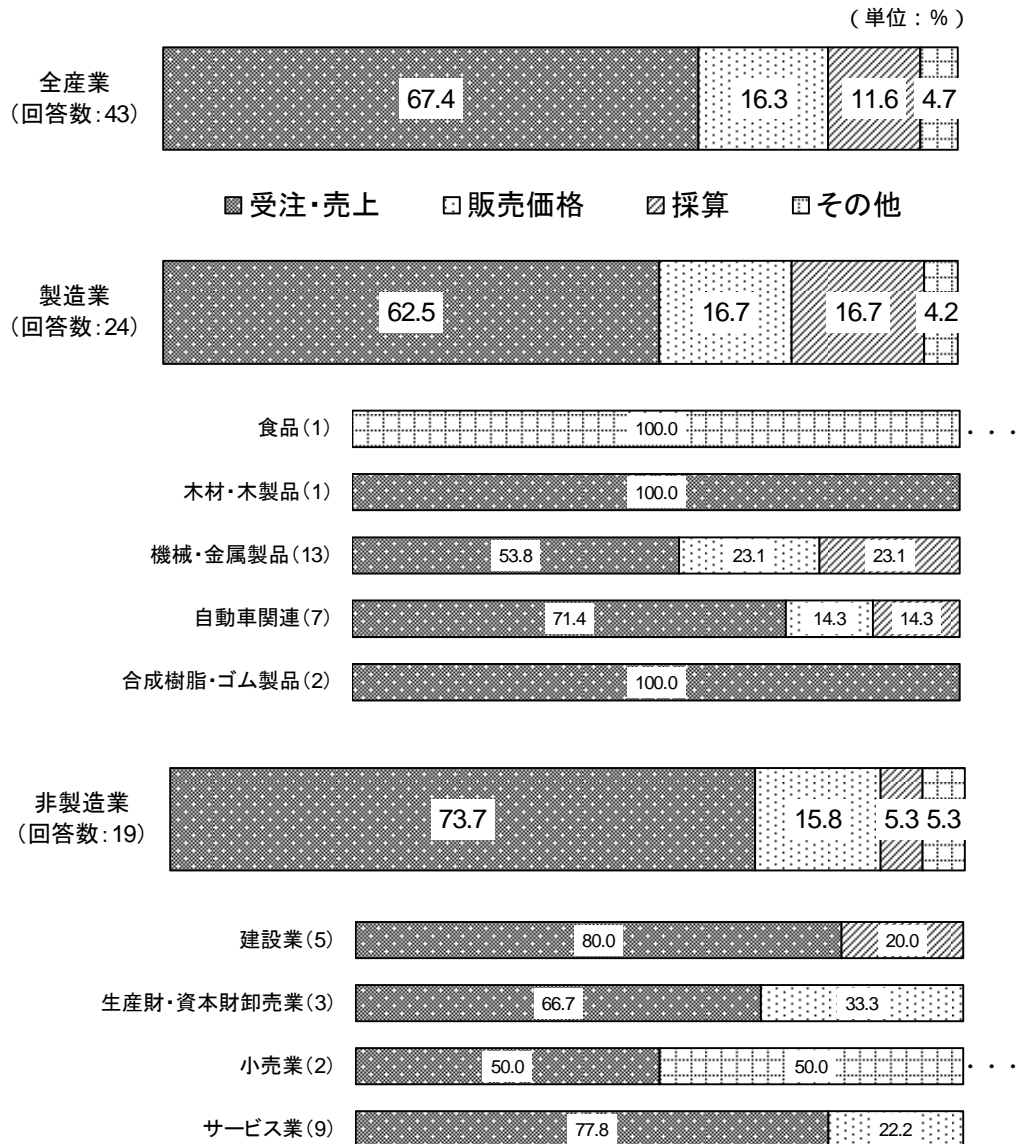
	DI	悪影響	影響なし	好影響		DI	悪影響	影響なし	好影響
全産業	△ 27.4	34.5	58.4	7.1					
製造業	△ 38.8	44.9	49.0	6.1	非製造業	△ 18.8	26.6	65.6	7.8
食品	△ 9.1	9.1	90.9	0.0	建設業	△ 26.7	26.7	73.3	0.0
木材・木製品	16.6	16.7	50.0	33.3	消費財卸売業	33.3	0.0	66.7	33.3
紙・紙製品・印刷	0.0	0.0	100.0	0.0	生産財・資本財卸売業	△ 42.9	42.9	57.1	0.0
機械・金属製品	△ 71.5	78.6	14.3	7.1	小売業	△ 15.4	15.4	84.6	0.0
自動車関連	△ 87.5	87.5	12.5	0.0	サービス業	△ 21.8	34.8	52.2	13.0
合成樹脂・ゴム製品	△ 50.0	50.0	50.0	0.0					

全産業の回答をDI（好影響 - 悪影響）でみると、27.4となった。

業種別にみると、製造業では、木材・木製品がプラスとなった一方で、機械・金属製品や自動車関連などでは悪影響が目立ち、DIは38.8となった。非製造業では、消費財卸売業はプラスとなった一方で、建設業、生産財・資本財卸売業、サービス業などで悪影響が目立ち、DIは18.8となった。

## 問2．主に悪影響を及ぼしているものは何ですか？（複数回答可）

問1で「悪影響」と回答した事業所のみ回答。なお、「資金繰り」など回答数0のものは除外。



[ その他の回答 ]

- ・ 原材料の値上がり傾向。(製造業：菓子)・・・
- ・ 地場産業の減速。(非製造業：宝石・時計)・・・